

季節の健康管理 ～犬フィラリア症～

春から夏にかけての厄介な寄生虫たち。ノミやダニ予防はもちろんですが、大事な家族の健康を守る上で、フィラリア症予防は、飼い主さんが責任を持って取り組む重要なことのひとつです。

犬フィラリア症について

感染経路

蚊が媒介します。感染している犬の血を蚊が吸うことにより、フィラリアの幼虫が、蚊の体内に移動し、その蚊が健康な犬の血を吸う時に感染できる状態に成長した虫が犬の体内に移動します。



予防

予防薬を毎月1回、1か月間隔で摂取させることにより、体内に入り込んだ寄生虫を1か月に1回、一斉に殺してしまう方法が一般的です。この寄生虫は、成虫になり、心臓などに寄生するまでに約2～3か月



かかる為、蚊が発生してから1か月後に最後の薬を飲み、蚊を見かけなくなつたら1か月後に最後の薬を飲むことで、100%予防することが出来ます。

症状

犬フィラリアという寄生虫は糸状の細長い形状をしており、犬の肺動脈や心臓に寄生し、血流を悪くさせ、様々な症状を引き起こします。元気や食欲がなくなり、咳をして呼吸が苦しようになります。

症状が進行すると、お腹が異常に膨らんできたり、血尿が出たりして、放置すれば死に至る怖い病気です。



治療

成虫が死ぬと血管に詰まったりして危険なので、薬で一気に除去したりは出来ません。手術はかなりのリスクが伴い、また完全に寄生虫を除去できる可能性は高くありません。つまり、治療に関しては効果的な決定打はありませんので、症状を軽減しながら、犬の体次第の対処療法になってしまうケースが多くなります。

蚊の発生時期が居住地域によって異なるので、投薬時期も居住地域で変わります。また、薬の量は犬の体重で変わりますので、しっかり獣医さんに相談して予防しましょう。途中の投薬を忘れたり、最後の飲み薬を飲まない、感染の危険性が高まりますので、自己判断は止め、獣医さんの指示に従ってください。また、既に感染してしまっているのに予防薬を飲むと、死んだ成虫が血管に詰まって危険です。毎年、フィラリア予防を始める前に、血液検査をするのがおすすめです。



わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club
リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0120-36-1198

TEL:0584-82-3611
FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: info@issink.jp

建設業許可/岐阜県知事許可(設-24)第12834号 一般建築士事務所登録/岐阜県知事登録第6628号



施工例紹介

愛犬たちが喜び、くつろげる家って？

愛犬の目線に立って考えたのが「愛猫家住宅」です。犬ならではの生態・習性とともに、その「秘訣」をご紹介します。

my room
秘訣①
開け閉め出来る
愛犬ルーム



ガラス戸で仕切ったインナーテラスが、愛犬2匹のための専用スペース。テラスの上部に窓を設けることで、風が通るように工夫。来客がある時は、テラスの戸を締め、愛犬たちはテラス内で過ごすなど状況に応じた使い方が叶うように。家族の集まるリビングが見渡せるので、愛犬も寂しさを感じずに過ごすことができます。また、飼い主にとっても安心😊

my room
秘訣②
天井の低い
マイルーム



スキップフロアの階段下を、愛犬のためのスペースにアレンジ。凹んだ穴蔵のような空間は、犬の本能に合った、安らげる「わたしの部屋」。ふかふかのクッション付きのテピーテントも天井が低く、愛犬にとっての心地よい居場所。また見た目もお洒落♪

愛犬の空間をつくる 安らげる “わたしの部屋”



「愛猫家住宅」を叶える

- 秘訣① 生活空間を区切る居場所づくり
- 秘訣② 生態に沿った“洞穴”を連想させるスペース
- 秘訣③ 愛犬が家族の姿を見渡せる「土間」



my room
秘訣③ 家族を感じながら過ごす「土間空間」



大型犬がいるご家族におすすめなのが、リビングへつづく広い「土間」を愛犬の居場所にするという方法。遊び場である庭に面した足洗い場、愛犬グッズの収納内場所を備えた機能的な動線が理想的。お洒落な犬小屋をイメージさせるデザインを施し、犬のサイズに合わせた広いスペースが愛犬にとっての心落ち着ける自分の部屋に

企画監修/愛猫家住宅コーディネーター 水戸尊士 (認定番号: 20203723)



玄関からリビングに沿うように、広く長く続く土間。リビング全体を見渡すことのできる「土間」に、愛犬専用のマットを設置することで、愛犬はいつでも家族の存在を感じることが出来る。散歩を終えて帰宅した愛犬は、真っ直ぐに「土間」にある自分の居場所に戻ることが出来る作り

企画監修/愛猫家住宅コーディネーター 佐竹修 (認定番号: 19022434)